

特別展

## 「肖像画で見る郷土の先賢 世界の架け橋 展」

4月8日(水)～7月5日(日)



当館には、県所蔵「郷土の先覚100人」の肖像画が保管されています。今回、東京五輪・パラリンピック開催年にあたり、その中から国際交流や国際理解など世界の架け橋として尽力した、郷土の偉人20名を選び、肖像画とともに功績や年表を作成し展示しました。

「わたしたちの故郷に、こんな素晴らしい業績を築いた人たちが大勢いたことを初めて知った…」「高峰譲吉や大谷米太郎などの偉大さを再確認した」などの感想をいただきました。

恒例展

## 第18回「さんすうワールド 展」

7月15日(水)～8月27日(日)



新型コロナの影響で短い夏休みとなりましたが、「算数」の面白さや不思議さを味わえるようにと20のクイズと6種の立体パズル等を展示しました。また、数学者の秋山仁氏がプロデュースした大型教材〔楕円ビリヤード・二項分布パチンコ台・階段らせん木琴〕や将棋の藤井聡太棋聖・王位が幼い頃に愛用していた「キューボロ」も設置し、興味関心がもてるようにしました。

「頭を使う問題や実際に触って動かせるパズル等がたくさんあっておもしろかった…」「難しかったけれど、子供と一緒に楽しみながら出来てよかった…」などの感想が寄せられました。